

第七十五回帝國議院 市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第十回

會議

昭和十五年三月十八日(月曜日)午前十一時 三分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 服部 岩吉君
理事長 源君 理事伊藤東一郎君
理事庄司 一郎君

土屋清三郎君

渡邊 建君

樋口善右衛門君

石坂 豐一君

阿部 茂夫君

笠井 重治君

多田 滿長君

木村 武雄君

三月十四日委員青木亮實君及椎尾辨匡君辭任ニ付其ノ補闕トシテ福田關次郎君及木村武雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十五日委員一ノ瀨俊民君辭任ニ付其ノ補闕トシテ川崎巳之太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

- 出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 松浦鎮次郎君
出席政府委員左ノ如シ
法制局參事官 入江 俊郎君
文部政務次官 子爵舟橋 清賢君
文部參事官 仲井閑宗一君
文部省普通學務局長 中野 善敦君
文部省社會教育局長 田中 重之君

教務局長官 菊池豐三郎君
厚生政務次官 一松 定吉君
厚生省職業部長 內藤 寬一君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案(政府提出)
現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)

職業紹介法中改正法律案(政府提出)
○服部委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案外一件ニ對シマシテ、最後ニ大臣ニ質問シタイトノ申出ガアリマスカラ、此ノ際出來ルダケ一ツ簡潔ニ御質問下サルヤウニ御願致シマシテ、發言ヲ許シタイト存ジマス——松永君

○松永委員 先日來當委員會ノ問題ニナツテ居ツタ小學校教員俸給並ニ赴任旅費支辨ノ問題ニ付テデアリマスガ、一昨日ノ稅制改革委員會ニ於キマスル內務大臣ノ言明ニ依リマス、人口七十万以上ノ都市ニ限ツテ小學校教員俸給並ニ赴任旅費ハ府縣カラ之ヲ包括的ニ市ニ交付シテ、サウシテ市ノ責任ニ於テ之ヲ支辨セシムル、斯ウ云フコトノ言明ガアリマシタ、而シテ此ノ支辨方法ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ、斯ウ云フコトヲ內務大臣ハ言明シテ居ラレタヤウデアリマスガ、之ニ對シテ文部大臣モ御同意ヲナサレ、デアルカドウカ、其ノ點ヲ

一ツ伺ヒタイ
○松浦國務大臣 只今ノ御尋デアリマスガ、過日稅制委員會ニ於キマシテ內務大臣カラス様ニ答ヘラレテ居リマス、府縣ニ於テ小學校教員ノ俸給ヲ支給スルニ當リマシテ、六大都市ニ限リ當該市長ヲ經由スルモノト致スコトニ付キマシテ、之ヲ勅令ニ於テ規定スルコトニ付キマシテハ十分ナル考慮ヲ拂ヒタイト思ツテ居リマス、是ガ內務大臣ノ答辯デアリマスガ、私ノ申スコトモ內務大臣ノ答辯ト全ク同様デアリマシテ、六大都市ニ限リマシテハ俸給ノ支拂等ニ付テ當該市長ヲ經由スル、斯ウ云フ意味デアリマス、尙ホ之ヲ法制化シテ勅令ニ於テ規定スルト云フコトニ付キマシテハ、十分ナル考慮ヲ拂ツテ研究シタイ、十分ナル考慮ヲ拂フ、斯ウ云フ意味デアリマス

○松永委員 稅制委員會ノ質疑應答ハ、一昨晚私モ傍聽シテ居ツタノデアリマスガ、只今大臣ノ仰セラレルヤウニ、考慮ト云フコトハ、川崎君ノ質問ニ對シテ初メサウ云フヤウニ述ベラレテ居ツタヤウニ承ツテ居リマス、併シナガラ其ノ次ニ上田孝吉君ガ再質問ヲ致シマシテ、ソレニ對スル答辯デハ、內務大臣ハハツキリ考慮ト云フ文字ヲ使ハレテ居リマセ、即チ勅令ヲ以テ制定スルト云フコトニスル積リダト云フコトヲ仰セラレテ居リマスガ、其ノ點ヲ文部大臣ハドウ御考ニナリマスガ、即チ勅令ヲ以テ

制定スルト云フコトニ御同意遊バスカドウカ、其ノ點ヲ承リタイ
○松浦國務大臣 勅令ヲ以テ規定スルコトニスル意味ニ於テ研究致シタイト思ヒマス
○松永委員 文部大臣ノ御意向ハ其ノ點ニ付テ能ク分リマシタ、ソコデ御話ノ中ニアリマシタ即チ小學校教員俸給ヲ府縣ヲ通シテ市ニ交付スル、ソレハ即チ市ノ責任ニ於テ支辨スルヤウニサセル積リデアルカドウカ、ソレヲ一ツ承リタイ、即チモウ少シ詳細ク申シマス、包括的ニ其ノ市ニ限ツテハ教員給ヲ市ニ支辨セシムル、サウシテ市カラ之ヲ市ノ責任ニ於テ支辨セシムル、斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカドウカ、ソレヲ承リタイ
○松浦國務大臣 先刻申シマシタ如ク、俸給ノ支拂ニ當ツテ、市ヲ經由スルト云フ意味デハナクシテ、當該市長ヲ經由スルノデアリマスカラ、其ノ經由スル詳細ノ規定等ニ付キマシテハ、色々細カイトコデアリマスカラ、ソレニ付テハ十分考究シテ決シナケレバナラヌノデアリマスガ、內務大臣ノ答辯モ、私ガ今御答申スコトモ市ヲ經由スルノデアリマシテ、當該市長ヲ經由スルノ府縣ノ機關タル資格ニ於テ當該市長ヲ經由スル、其ノ經由スル方法等ニ付キマシテハ、是ハ色々細カイ取極ヲ要スルコトデアリマスカラ、是ハ十分考究ヲシ

付託議案
市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案(政府提出)(第七十八號)
現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)(第六十七號)
職業紹介法中改正法律案(政府提出)(第六九號)

タイト思ツテ居リマス

○松永委員 私共ノ此ノ委員會ニ於テ質問ヲ致シ、更ニ要望致シテ居リマスノハ、市長ヲ經由スルト云フ意味デナクシテ、當該市ヲ經由スル當該市ノ責任ニ於テ支辨スルヤウニサシテ戴キタイ、斯ウ云フ要望デアリマス、ソレハ御考慮ヒデハナイノデアリマス、ソレモ一度改メテ承ツテ置キマス

○松浦國務大臣 過日内務大臣ガ答辯セラレタ意味モ、當該市長ヲ經由スル、斯ウ云フコトデアリマシテ、私ガ今御答致スノモ、當該市長ヲ經由スルノデアツテ、市ヲ經由スルノデアリマセヌ

○松永委員 モウ一點御伺致シマス、只今勅令ヲ以テ制定スルト云フコトハ分リマシタガ、サウスルト是ハ勿論申スマデモナイコトト思ヒマスガ、其ノ勅令ハ本法施行ト同時ニ效力ヲ發生スル勅令デナケレバナラヌト思フノデスガ、ソレハソレニ違ヒナイデセウカ

○松浦國務大臣 ソレハ本法ノ實施ト同時ニ出ル譯デアリマス

○服部委員長 木村君

○木村委員 文部大臣ニ御尋致シマス、今日ノ日本ニ於テ一番慎重マネバナライノハ官吏ノ獨善主義デアリマス、是ガ行政ヲ影響クシタリ、國民ニ陰慘ナ氣持ヲ與ヘタリ、場合ニ依ツテハ國民ヲシテ行政ニ對スル反感ヲ抱カセルヤウナコトニナルノデアリマス、此ノ委員會ヲ通ジテ現ハレマシタ文部

當局ノ態度ノ吾々ニ與ヘマシタ感ジハ、最モ明朗ナルベキ文教ノ審議ニ當リマシテ、非常ニ官僚的デアツタト云フコトデ、ソレト致シマシテハ、日本ノ教育ハ最早革命期ニ入ツテ居ル、大改革ヲシナケレバナラナイ、サウシナケレバ齋藤サンノヤウナア云フ問題ヲ度毎ニ繰返シテ行カナケレバナライノデアリカ、國民ニ對スル大キナ啓蒙ノ時機ガ來タ、其ノ司ヲヤルベキ文部當局ハ、宜シク民ノ聲ハ聽クベキハ聽イテ、容レルベキハ容レテ、立派ナ教育制度ト云フモノヲ樹立シテ行カナケレバナライノデアリカト考ヘテ居リマスガ、ドウモサウ云フ傾向ガナイノデアリマス、今マデ議論サレマシタ議論ノ中ニハ澤山ニ納得スベキモノガアツタ筈デアリマス、所ガドウモサウ云フヤウナモノニハ耳ヲ藉サレナイ傾向ガ顯著デアツタノデアリマス、巷間傳フル所ニ依リマスレバ、本法案ニ必要ナル勅令案ハ、政府ハ既ニ原案ヲ樞密院ノ議ニ付シマシテ、同院ヲ通過セシメテ居ラレルト云フ、アリ得ベカラザル風聞モ吾々ハ耳ニ致スノデアリマス、ソレガ極端ニモ此ノ原案ニ執著セシメラレテ居ル文部省ノ態度デアリヤウニ承知サレルノデアリマス、サウ云フ態度ヨリ推論致シマスルト、或ハアリ得ベカラザルコトマデモアルノデアリカト云フ、哀シイ氣持ヲ抱カナケレバナラヌノデアリマス、若シモサウ云フヤウナコトガアリマスレバ、ソレハ重大ナル此ノ議會ノ審議權ノ無視デアリマシテ、此ノ法案ノ根本ノ「イデオロギー」ヲ成ス官僚主義ノ重大ナル誤リデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソコデ政府ハ其ノ問題ニ付テ納得ノ行

クヤウニ一ツ御説明下サルコトヲ御願申上ゲマス

○松浦國務大臣 御答ヲ致シマス、官僚獨善ト云フコトニ付キマシテ色々御話ガアリマシタガ、私ガ此ノ委員會ニ臨ンデ、皆サンノ御尋ニ對シテ御答ヲ申シタ中ニ、動モスレバ官僚的ノコトガアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ少シモサウ云フ意味ヲ持ツテ居ラスノデアリマシテ、或ハ私ガ言辭ニ慣レザルガ爲ニ、サウ云フヤウナ御感ジヲ起シタノカモ知レマセヌガ、私ニ於テハ更ニサウ云フコトハナイノデアリマス、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソコデ本法案ト勅令トノ關係ニ付テノ御尋ガアツタノデアリマスガ、此ノ法案ハ市町村立小學校教員ノ俸給ヲ負擔スル團體ニ對シテ國庫ノ負擔金ヲ交付スルト云フコトニ付キマシテ、從來市町村ガ負擔シテ居ツタノ道府縣ノ負擔ニ移スト云フコトニ致スコトニナリマスルノデ、ソレト睨ミ合シテ、其ノ新ニ教員俸給費ヲ負擔スル團體ニ向ツテ國庫ノ負擔金ヲ交付スル、其ノ負擔團體ガ變ルト云フ意味ニ於テ本法案ノ必要ヲ見ルノデアリマス、ソコデ負擔團體ガ何デアルカト云フコトハ、是ハ從來ノ例ニ依リマシテ、勅令デ決マルノデアリマスカラ、一方ニ於テハ其ノ勅令ガ決マル、ソレト睨ミ合シテ本法ガ出來ナケレバナラス、勅令ト法律トガ睨ミ合ツテ、雙方關聯シテ施行サレナケレバ運營ガ付カナイノデアリマスカラ、一方ニ於テハ此ノ法案ニ付テ御協賛ヲ願ヒ、一方ニ於テハ勅令デ負擔團體ノコトヲ決メル、斯ウ云フ風ニ雙方相並行シテ參ルノデアリマスカラ、其ノ勅令ニ依ル

負擔團體ヲ何ニスルカト云フコトニ付テノ制定ノ手續ヲ執ツテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレハサウシナケレバ運營ガ付カヌノデ、サウシテ居ルノデアリマスガ、此ノ議會ニ於ケル審議權ヲ拘束スルヤウナコトハ更ニナイト考ヘルノデアリマシテ、政府トシテ此ノ法案ニ付テ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、市町村立小學校教員ノ俸給ヲ市町村費支辨カラ道府縣費支辨ニ移スト云フコトガ財政上、教育上ノ見地カラ見マシテドウシテモ必要デアアル、斯ウ云フ意味ニ於テ御協賛ヲ願ヒタイト思ツテ居ルノデアリマス、勅令ガ一方デ決マルカラ、此ノ法案ニ付テ御贊成ヲ願ヒタイト云フコトデ、審議權ヲ拘束スルト云フ意味ハ少シモナイノデアリマシテ、勅令ハ勅令、法律ハ法律、兩方揃ツテ四月一日カラ道府縣費支辨移管ト云フコトガ出來ルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ兩方ガ足並揃ヘテ行カナケレバナラス、デアラカラ勅令ノ方モ勅令制定ノ御諮詢ヲ仰ギ、ソレト同時ニ本法案ニ付テハ御贊成ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ關係ニアルノデスカラ、少シモ審議權ヲ拘束スルト云フコトハナイト考ヘテ居リマス

○木村委員 負擔團體ヲ府縣支辨ニスルカ、從來通り市町村支辨ニスルカト云フコトヲ今茲デ議論シテ居ルノデアリマシテ、マダ決ツテ居ナイ問題デアリマス、決ツテ居ナイ問題ノ勅令案ヲ樞密院ニ御諮詢ニナツテ、サウシテ恰モ政府ノ方針通り決ツタモノノ如キ待遇ヲサレテ居ルト云フコトハ、ヤハリ議會ノ審議協賛權ノ無視ニナリハシナイカ、決マルカ決マラナイカハマダ分ラナイ問題ヲ取上ゲル場合ニ、決ツタモ

ノトシテ樞密院ニ御諮詢ニナリマシタコトハ、議會ノ審議協贊權ノ無視ニナリハシナイカ、又樞密院ニ對シマシテモ恰モ其ノ通りニ決ツタモノノ如キ態度ヲ御執リニナリマシタコトハ、樞密院ニ對シテモ亦禮ヲ失シテ居ラレヤシナイカ、ソレヲ御伺申上ガマス

○松浦國務大臣 御答ヲ致シマスガ、此ノ法案ハ市町村立小學校教員ノ俸給ヲ負擔スル團體ガ從來市町村デアツタノガ、道府縣ニ移ルコトニ依ツテ國庫ノ負擔金ヲ交付スルノハ隨テ道府縣ニナル、斯ウ云フ意味ノ改正デアリマシテ、是ハ本法案ニ於キマシテハ何モノヲ教員俸給ノ負擔團體ニスルカト云フコトヲ決メルノデアリナイノデアリマシテ、一方ニ於テ負擔團體ガ變ルカラ、ソレニ相應ジテ俸給費ヲ負擔スル團體ニ國庫ノ負擔金ヲ交付スル、斯ウ云フ意味ナノデアリマシテ、負擔團體ト云フモノガ府縣ニナルト云フコトガ定マラナケレバ、本法案ハソレダケデハ動カヌノデアリマス、併シナガラ府縣團體ガ俸給費ヲ負擔スルコトニナリマシテモ、國庫ノ負擔金ガ行カナケレバ出來ナイノデアリマス、ソレガ兩方勅令デ決マル事項ト、法律デ決マル事項ト相違ンデ四月一日カラ初メテ其ノ實行ヲ見ルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、勅令制定ノ手續ヲ樞密院ニ執リツツアルコトノ爲ニ、議會ノ審議權ヲ少シモ拘束スルト云フコトハナイノデアリマス、詰リ其ノ勅令ガサウ云フ風ニ決マラナケレバ、此ノ負擔法改正ノ意味ヲナサヌノデアリマス、是ハ勅令ハ勅令、法律ハ法律、兩方相違行シテ初メテ實行ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデ私共

ガ御協贊ヲ何處マデモ願ヒタイト思ヒマスノハ、サウスルコトガ教育上ノ見地カラ必要デアルカラ、其ノ意味ニ於テ御協贊ヲ得ラレルコトト確信シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ關係デアリマスカラ審議權拘束ト云フ問題ニハ何等ナラナイカト考ヘルノデアリマス

○木村委員 ドウモ納得行キマセヌガ、假ニ此ノ法案ガ議會ニ於テ否決サレタト致シマスレバ、樞密院ニ掛ケルト云フ問題ハ不必要ニナル、斯ウ思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○松浦國務大臣 此ノ法案ニ付キマシテハ負擔團體ヲ變ヘルト云フコトト相違ンデ、必ず御協贊ヲ得ラレルコトト確信シテ居ルノデアリマス、御協贊下サルコトト信ズルノデアリマス

○木村委員 私ハ何モ惡意ヲ以テ話シテ居ルノデアリマセヌカラ、率直ニ御話ヲ御願シタイト思ヒマス、今ハ政府ノ提案通りニ通過スルカ通過シナイカト云フコトハ疑問ノ状態ニ置カレテ居ルノデス、其ノ時ニ通ルモノト確信ヲ抱カレマシテ、非常ニ善意デアアルガ確信ヲ抱カレマシテ、ソレニ要スル勅令案ヲ樞密院ニ御諮詢ニナラレタト云フコトハ、既ニ議會ノ審議權協贊權ノ無視ニナリハシナイカ、樞密院ノ方ガ通過シテ居ルカラ、衆議院ノ方ハ之ニ附イテ來イト云フヤウナ態度ニナリハシナイカ、斯ウ申シテ居ルノデアリマス、モウ一遍御同致シマスガ、是ガ否決サレタト致シマスレバ、勅令案ト云フモノハ何等必要ナカツタ問題デアリマセヌカ、通ルト云フコトガ條件ニナツテ樞密院ノ御諮詢ガ必要ニナツテ來ル、何デモナカツタ、從前通りデア

ルト云フコトニナレバ、樞密院ノ御諮詢ト云フコトガ不必要問題ニナリハシナイカ、斯ウ御尋シテ居ルノデアリマス

○松浦國務大臣 今申シマス通り是ガ兩方相違ンデ行カナケレバイカヌ關係ニアアルノデアリマシテ、若シ勅令ノ方デ負擔團體ヲ市町村カラ道府縣ニ移スト云フコトガ行ハレナケレバ、此ノ法律案即チ府縣ニ交付スルト云フコトハ意味ヲナサヌコトニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係デ兩方トモ互ニ聯關シテ居ル問題デアリマスカラ、殊ニ議會ノ會期ノ關係モアリマスルシ、勅令ノ方ガ決マラヌノニ、此ノ法案ガ決マルト云フコトニナルト、ソレハヤハリ意味ヲナサヌコトニナルノデアリマス、併シナガラ勅令ノ方ガ決マラナケレバ、又此ノ法案ガ意味ヲナサヌ、即チ負擔團體ヲ變更スルト云フコトハ勅令デ決マル、其ノ變更シタ負擔團體ニ對シテ國庫ノ負擔金ヲ交付スルト云フコトガ此ノ法律デ決マル、斯ウ云フ兩方並行シテ參ル關係ニナツテ居ルノデアリマス、一方ニ於テハサウ云フ手續ヲ執リ、一方ニ於テハ御協贊ヲ願フ、サウ云フ手續ヲ執ツタコトハ政府トシテ已ムヲ得ヌコトト思ヒマスガ、若シ假ニ此ノ法案ガ否決ニナルトカ、修正ニナルト云フコトデアリマスレバ、政府トシテハ又考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、ソレハ

理窟カラ申セバサウ云フ理窟ニナリマセウ、勅令ガ通ラナカツタラ、此ノ法案ニ規定シテ居ルコトハ無意味ニナル、一方ダケデハ歩イテ行ケナイ、兩方睨ミ合ツテ初メテ運營ガ出來ルト云フ關係ニアアルノデアリマスカラ、決シテ審議權ヲ拘束スルト云フ意味デハナイノデアリマス、私ガ御協贊ヲ得ラ

レルダラウト確信シテ居ルト申シタノハ、政府ノ見ル所デハ、斯ウスル方ガ教育上、財政上ノ見地カラ見テ最モ宜シイカラ、多分御贊成ヲ得ラレルダラウト云フ唯私ノ感じヲ申シタノデ、御贊成ヲ強要スルトカ、審議權拘束ト云フヤウナ問題デアハナクシテ、兎モ角今申上ゲル通り兩方睨ミ合ツテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ微妙ナ關係ニア

ルノデアリマスカラ、一方ニ於テハ勅令制定ノ手續モ進メ、一方ニ於テハ此ノ法案ノ御協贊ヲ願フ、ソレガ一致シマスレバ四月一日カラ初メテ圓滑ニ運用ガ出來ルト云フ譯ニナリマスカラ、審議權ヲ拘束シタト云フ問題ニハチツトモナラヌト思ヒマス、萬一此ノ案ガ修正ニナルトカ、否決ニナルトカ云フヤウナコトガアリトスレバ、政府トシテモ考ヘナケレバナナリマセヌケレド

モ、勅令ノ方ガ決マラナケレバ此ノ法律案ハ意味ヲ成サヌコトニナルノデアリマス、サウ云フヤウニ雙方睨ミ合ツタ關係ニア

ルノデアリマスカラ、一方ニ於テ政府ガ勅令制定ノ手續ヲ進メテ居ルト云フコトハ已ムヲ得ヌ話デアリマシテ、ソレガ爲ニ決シテ議會ノ審議權ヲ拘束スルト云フコトニハナラヌト思ヒマス、理窟ヲ申セバ、或ハ修正ニナリ或ハ否決ニナルト云フコトモアリ得ルコトデアリマスカラ、其ノ點ハ議會ノ審議權ノ關係デアリマス、御協贊ヲ得ルコトヲ希望シ、多分御贊成下サルコトダラウト感ジテ居ルト云フダケノ話デアリマシテ、勅令ガ斯ウナツテ居ルカラ贊成ヲシト云フ意味ニ於テ、議會ノ審議權ヲ拘束スルト云フ關係ハ少シモナイノデアリマス、私ノ言ヒ現シシガ、或ハ不十分デアアルカモ知レ

マセヌガ、兩方ノ關係ハ今申上ケル通りニ
ナツテ居ルノデアリマス

○木村委員 文部當局ハ非常ニ善意デ居ラ
ツシヤイマス、吾々ノ常識カラ致シマス、
法律案ノ通過ヲ待ツテ後、ソレニ要スル勅
令案ノ御諮詢ヲ樞密院ニオヤリニナルモノ
デアルト云フノガ吾々ノ常識ダト考ヘテ居
ルノデアリマスケレドモ、兩方天秤ニ掛ケ
テ、何ト言ヒマスカ、兩方中間違ヒナク通
過スルモノデアルト云フ氣持ノ下ニ、兩方
ノ審議ヲ御進メニナルコトハ將來下ウカト
考ヘテ居ルノデス、順序ハヤハリ法律案ガ
先デ、其ノ次ガ勅令案トナルモノデアリ
デアリマセウカ、總テノモノガサウ云フ風
ニ二股掛ケテ行クノデアリマセウカ、御伺
致シマス

○松浦國務大臣 此ノ法律案ガ議會ノ協贊
ヲ經テカラ後ニ勅令事項ノコトヲヤツタラ
宜カラウト云フ御話デアリマスカ、ソレハ
四月一日カラ實行スルコトニナルノデアリ
マスカラ、サウ云フコトデハ實際ニ於テハ
間ニ合ハヌカモ知レヌト云フ關係モアリマ
スシ、又此ノ法律案ニシテモ、一方ノ負擔
團體ガ變ルト云フコトガ決マラナケレバ、
ソレガ變ルト云フコトニ伴ツテ此ノ法案ノ
意味ガ起ルノデアリマスカラ、先ニ法案ヲ
決定シテ置クト云フコトハ、マダ負擔團體
ガ決マラヌノニ決定シテ置クト云フコトニ
モ相成リマスノデ、兩方睨ミ合ツテ居ル關
係デアリマスカラ、勅令制定ノ手續ヲ執ツ
タト云フコトハ、今申上ケル通り議會ノ會
期ノ關係カラ四月一日マデニ間ニ合ハヌ、
サウ云フ關係ガアリマスノデ、已ムヲ得ズ
一方ニ於テ勅令制定ノ手續ヲ進メテ居ル譯
ナソデアリマス

○木村委員 ドウモ御氣ノ毒デアリマスカ
ラ是以上質問ハ繼續致シマセヌ、四月一日
カラ施行サレル問題デアル關係上已ムヲ得
ズト云フ御氣持、ソレカラ必ズ通過セシメ
テ下サルモノデアアラウト云フ氣持カラ樞密
院ニ掛ケタト云フ御答辯、文部當局ノ御氣
持ハ極メテ善意デアリマスカラ、善意ノ惡
政ダラウト私ハ考ヘテ居リマス、法律的ナ
議論ハ申上ゲマセヌガ、唯文部當局ノ政治
的良心、政治的道義ニ懇ヘタイト考ヘテ
居リマス、此ノ非常時ニ當面シテ日本ガ道
義國家ノ存在ヲ中外ニ向ツテ宣明シテ居リ
マス時、國ノ文教ノ司デアアル文部當局其ノ
モノガ道義ニ背反スル行動ヲ今後執ラレザ
ルヤウニ御注意申上ゲテ質問ハ終リマス

○松浦國務大臣 別ニ御答ハ致サナクテモ
宜シノカモ知レマセヌガ、道義ニ反シタ
ト云フコトガゴザイマス、一言私ノ所
信ニ付テ御諒解ヲ得テ置カナケレバナラヌ
カト思ヒマスカ、是ハ先刻申上ゲマシタ通
リ、兩方睨ミ合ツタ關係ニアリマスノデ、
ドウシテモサウ云フ風ニシナケレバ四月一
日カラノ運用ニ差支ガアルノデアリマシテ、
ソレニ依ツテサウ云フ手續ヲ執ツタノデア
リマシテ、樞密院ニ御諮詢ヲ奏請シタコト
ニ付キマシテモ、其ノ方ハ負擔團體ヲ變更
スルコトガ必要デアルト云フ理由ノ下ニ、
勅令制定ノ手續ヲ進メタノデアリマシテ、
議會デ必ズ協贊ヲ得ルコトハモウ分ツテ居
ルカラ、ソレデ一方ヲ進メタ、サウ云フヤ
ウニ議會ノ協贊ヲ得ルコトヲ決ツタモノト
考ヘテ、一方ノ手續ヲ進メタト云フ意味デ
ハ決シテナイノデアリマシテ、今申上通り
兩方同時ニ進メナケレバ、實際ノ運用ガ
付キ兼ネルト云フ關係カラ、左様ナコトニ

致シタノデアリマス、審議權ノ問題ニ付キ
マシテハ、何等ノ拘束スル考ハ少シモナ
イノデアリマス、ドウゾ其ノ意味ヲ御諒察
願ヒマス

○松永委員 一寸此ノ際伺ツテ置キタイノ
デス、ソレハ本案ヲ今後ドウ取扱フカト云
フ心構ニモナリマスシ、今後斯ウシタ案ヲ
取扱フ參考ニモナルカラ承リマスカ、先程
木村君ノ質疑ノ中ニモアリマシタ通り、勅
令ノ方デハヤハリ府縣支辨ニスルト云フ意
味デ決定セラレテ居ル、而シテ此ノ委員會
デ此ノ案ガ否決セラレタ場合、樞密院デ決
議サレタ其ハ勅令ハ無効ニナルノデセウカ、
ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

ソレカラ若シ此ノ案ガ本委員會ニ於テ修
正セラレタ場合、其ノ勅令ノ效力ハドウナ
ルカ、即チ修正サレルト云フコトハ、之ヲ
例示シマス、私共ガ先日カラ叫ンデ居リ
マシタ通り、六大都市、即チ人口七十萬以
上ノ都市ニ限ツテ斯ウ云フコトヲヤレト云
フヤウニ此ノ委員會ニ於テ修正セラレタナ
ラバ、政府トシテハ樞密院ニ更ニ其ノ修正
セラレタ案ヲ御提案ニナツテ、此ノ前提案
シタノハ間違ツテ居ツタカラ、斯ウ云フ風
ニ修正シテ呉レト云フヤウニナサルノデス
カ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 一方ニ於テハ稅制ノ改正
ニ伴ヒマシテ道府縣費支辨ニ移ルト云フコ
トヲ含ンデ居ルノデアリマスカラ、否決ニ
ナルトカ、修正ニナルトカ云フコトハ無論ナ
イト信ジマスカ、若シ此ノ案ガ何等カノ變
更ヲ受ケルコトニナリマスカ、政府トシ
テハ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、其
ノ勅令ヲドウスルカト云フコトニ付キマシ
テハ、府縣團體ニ教員俸給ノ支辨ヲ移スコト

ガ、ドウシテモ必要デアルト私共ハ信ジテ
居リマスカラ、其ノ意味ニ於テ、此ノ案ガ
修正サレルコトハナイト思ヒマスケレドモ、
サウ云フ場合ニ於キマシテハ政府トシテ相
當ノ善後策ヲ講ジナケレバナラヌ、斯様ナ
コトニ相成ルト思ヒマス

○松永委員 考慮シナケレバナラヌトカ、
善後策ヲ講ジナケレバナラヌトカ云フコト
ダケデハ、分ラヌノデス、法律的ニ申上ゲ
テモ、一方ニ於テハ樞密院ガ決定シテ、而
シテソレガ議會ノ決議ト矛盾スルトカ、或
ハ全然反對ノ決議ヲシタト云フ場合ノ取扱
方ニ付テ御考慮ナサルトカ、或ハ善後策
ヲ講ズルト云フダケデハ、私共ハ一寸腑ニ
落ちナイノデス、ソコデ申上ゲタイノハ、
成程大臣ハ府縣支辨ニスルトコトガ適當デア
ルト自分ハ信ジテ居ルト繰返シテ仰セニナ
ツテ居リマスカ、私共ハ府縣支辨デハイカ
ヌ、ヤハリ市町村支辨デナケレバイカスト
云フ考ヘ方デ今日マデ來テ居ル、ソレデ此
ノ委員會ノ決議ガドウナルカト云フコ
トニ依ツテ、或ハ勅令ニ變更ヲ生ゼン
ケレバナラヌト云フヤウナ場合モ生ジテ
來ルデアラウト思フノデス、其ノ時ニ
勅令ガ無効ニナルカ、或ハ勅令ヲ修正サ
レル新ナル案ヲ御提案ニナルカ、ソレヲ
承ツテ置キタイ、成程昨日ノ本會議ニ於テ
稅制ノ問題ハ解決致シマシタ、併シナガラ
解決スル前ニヤハリ相當ノ御決意ガアツテ、
樞密院ノ御諮詢ヲ得ラレル程度ニマデ御進
行ミナツタノデアラウト思フ、ソコデ樞密
院ノ方デ決定セラレタ其ノ事項ガ無効ニナ
ルヤウナ場合ガアルノデアラウカ、若クハ
ソレト異ツタル決議ヲ此ノ議會ニ於テ致シ
マシタ時ニハ、更ニ樞密院デ決議シタ事項

一三六

ヲ變更シテ、新タナル勅令ヲ出スヤウニ奏
請サレモノデアリカ、ソレヲ承リタイ
○松浦國務大臣 今勅令制定ノ手續ヲ履
シ居ルノデ、既ニ勅令ガ制定サレテ居ル譯
デナイコトハ、御承知ノ通りデアリマス、
ソレデ若シ此ノ案ガ何等カ變ルコトニナリ
マスレバ、政府ハソレニ依ツテ適當ニ善處
スルト云フ外ハナイト思ヒマス

○服部委員長 山崎君

○山崎委員 簡單ニ二三點御同致シマス、
第一點ハ、將來男女教員ノ比率ヲドノ位ノ
程度ニサレカト云フ點デアリマス、先程
文部省カラ戴キマシタ資料ノ中ニ、昭和十
一年度ト十三年度トノ各縣ノ平均俸給ノ調査
表ガ出テ居ルデアリマスガ、ソレニ依
リマス、十一年カラ十三年ノ間ニ平均俸
給ノ上ツテ居ル所ハ、約十縣位シカタクテ、
多クハ下ツテ居ルヤウニ思フデアリマス、
一二年經ツト漸次平均給ガ下ツテ行クト云
フコトハ、ソコニ高給者ノ退職、或ハ女教
員ノ増加、代用教員、準教員ノ増加ト云フ
コトモアルト思ヒマスガ、其ノ原因ハ何
處ニアルカ、更ニ私ハ經濟界ノ狀況カラ見
テ將來相當數ノ女教員ノ増加ト云フ現象ガ
生レルノデハナイカ、隨テ若シ女教員ガ増
加シタ場合ニハ、産前産後ノ補助教員ヲ要
スルトカ云フヤウナコトモ考ヘラレルデ
アリマセウ、又外國ノ或國デヤツテ居ルヤ
ウニ、初等教育ハ殆ド女教員ニ任セルト云
フコトモ考ヘラレテ來ルノデハナイカ、斯
様ニ思フデアリマス、隨ヒマシテ女教員
ノ率ガ非常ニ増加スルト、教育能力ニモ相
當ノ影響ヲ來スノデハナイカト思ヒマスノ
定ノ所ニ落著ケテ置ク必要ガアルデハナ

イカ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、ソレ
ト併セテ教員ノ名稱ヲ統一スル必要ハナイ
カ、正教員、準教員、代用教員、是等ノ名
稱ガ小學校兒童ニ及ボス影響力ト云フモノ
ハ想像以上デアリマシテ、最近小學校ニ御
承知ノ如ク「スフ」教員ト云フ言葉ガ非常ニ
流行シテ居ツテ、代用教員、準教員ニ對シ
テハ生徒マデガ「スフ」ノ先生ダト云フコト
ヲ言ツテ、非常ニ蔑視的ナ態度ヲ執ルノデ
アリマス、或ル女教員ノ如キハ泣イテ其ノ
生徒ニ反問ヲシタト云フコトモアルノデア
リマス、幼イ子供ニ、先生ニ對スル差等ヲ
設ケテ、ソレニ對スル輕重ノ觀念ヲ先ヅ植
付ケテ行クト云フコトモ甚ダ考ヘナケレバ
ナラヌト思フデアリマスルカラ、此ノ際
教員タルモノハ他ニ適當ナル扱ヒ方法ヲ決
メマシテ、名稱ハ準教員、代用教員、或ハ
正教員ト云フコトハ成ベク生徒ニ知レナイ
ヤウナ扱ヒ出來ヌモノデアラウカ、斯様ニ
思フデアリマス、此ノ二點ニ付テ御同致
シマス

○松浦國務大臣 小學校ノ教員ノ男女ノ區
別ト申シマスガ、サウ云フモノニ付キマシ
テハ、必ズシモ一定ノ率ト云フモノヲ決メ
タモノハナイデアリマスガ、女教員ハ男
教員ニ比スレバ其ノ割合ガ或ル程度マデ少
イ、寧ロ男教員ノ方ノ比率ガ相當多クナツ
テ居ルト云フコトガ先ヅ理想ト申シマスル
カ、通常ノ狀態デアリマシテ、今日マデ現
ニ左様ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、斯
ウ云フ時局ニ於キマシテ、多少女教員ノ
割合ガ殖エルト云フヤウナコトハ、或ハ自
然ノ勢ヒ免レヌコトデアアルカト思ヒマス
ガ、教育全體ノ上カラ考ヘマスルト、ヤハ
リ多イ率ノ男教員ガ必要デアリマスカラ、

男教員ノ補充ニ付テハ文部省トシテモ十分
計畫ヲ立テテ、寧ロ多イ率ノ方ヲ男教員ガ
占メルト云フコトニ致サナケレバナラヌカ
ト思フデアリマス、女教員ノ率ガ從來ニ
比シテ或ハ當分ノ間多少殖エルト云フヤウ
ナコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、女
教員ノ率ガ非常ニ多クナルト云フコトハ、
是ハ相當考ヘナケレバナラヌコトカト思ヒ
マス

ソレカラ教員ノ名稱ノ區別ノコトデアリ
マスガ、是ハ正教員ナリ準教員ナリ代用教
員ナリト云フモノハ、ソレノ素養ヲ異ニ
シ、資格ヲ異ニシテ居ルモノデアリマスガ
ラ、全ク其ノ區別ヲ廢止シテ名稱ヲ一本ニ
スルト云フヤウナコトハ、是ハ實際ニ於テ
中々出來難イコトデアナイカト考ヘテ居リ
マス、兒童ガ先生ノ名稱ニ依ツテ尊敬ノ程
度ヲ異ニスルト云フヤウナコトガアルト云
フ御話デアリマスガ、マア左様ナコトハ別
ニナカラウカト思フデアリマスガ、何シ
ロ素養ガ違ヒ、資格ガ違フノデアリマスガ
ラ、ドウモサウ云フ名稱ニ多少區別ガ出來
ルコトハ是ハ已ムヲ得ナイコトデアナイカ、
斯様ニ考ヘテ居リマス

○山崎委員 今教員ノ名稱ノ點ニ付テハ已
ムヲ得ヌト云フ御話デアリマスルケレドモ、
實際ノ問題ニ當ツテ見マスルト、私ハ相當
已ムヲ得ル場合ガ多イト思フデアリマス、
是ハ御考慮ヲ願ツテ置ク程度ニ止メテ置キ
マス

モ非常ニ良イコトデアルト考ヘテ居リマス
ルガ、アレハ教員並ニ市町村、府縣、國家
ガドウ云フ風ナ割合デアノ負擔金其ノ他ヲ
サレルヤウニ相成ツテ居ルノデアリマスル
カ、モウ少シ詳シク此ノ機會ニ御伺ガ出
來マスレバ伺ツテ置キタイト思ヒマス、サ
ウシテ其ノ適用範圍ハ代用教員ヲモ含ム教
員全體ニ適用サレルモノデアアルカ、サウ云
フ點モ御伺シテ見タイノデアリマス

○松浦國務大臣 共濟組合ノコトデアリマ
スガ、是ハ尋常小學校、高等小學校、青年學
校ノ教員、幼稚園ノ保姆ト云フヤウナモ
ノニ廣ク適用スル積リデ、今追加豫算トシテ
御協賛ヲ願ツテ居ル譯デゴイザマスガ、ソ
レハ本人ノ掛金ト、國ナリ公共團體ガ負擔
スル金トノ割合ヲ申シマス、二分ノ一ハ
本人ガ掛金ヲ致シ、之ニ相當スルダケノモ
ノヲ國若クハ公共團體ガ負擔スル、斯様ナ
仕組ニシテデアリマス、是ハ無論代用教員モ
準教員モ皆含ム譯デアリマス

○山崎委員 其ノ點ニ付テモツト詳シク伺
ヒタイノデアリマスガ、時間ガアリマセヌ
カラ次ニ進ミタイト思ヒマス、是ハ小學校
令施行規則ノ三十條ニ依リマス、一學級
ノ生徒ノ人員ガ規定サレテアルノデアリマ
ス、一人ノ先生ノ教育持チ分ト致シマシテ
ハ、今日ノ七十名乃至ハ六十名以上ト云フ
ノハ相當多過ギルノデハナイカ、斯様ニ私
ハ思ツテ居ルノデアリマス、隨テ是ハドウ
シテモモウ少シ少クシテ、少クトモ五十名
乃至五十五名以下位ニ限定シテ、其ノ分ダ
ケハ市町村ニ學級増加ヲナサジヌ、或ハ施
設増加ヲナサシムル必要ガアリハナイカ、
斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、又一ツノ
學校ノ學級數モ二十四學級程度トシテ、ヤ

ハリ校長ノ統率力ノ下ニ於テ其ノ先生ヲ統率シテ、一校一家ノ如ク、初等教育ヲヤル上ニ於キマシテハ餘リ澤山ニ學級ガ多クナルト、一ツノ工場見タイナ恰好ニナツテシマツテ、其ノ間ニ校長ト教員ノ親睦ノ度合モ薄クナツテ、所謂テンム、區々ナル氣分ヲ醸成スルト云フコトハ面白クナイト云フコトヲ、實際教育效果ノ上ニ於テ私ハ見テ居ルノデアリマス、隨テ是カラハ此ノ國庫負擔金道府縣支辨ヲ轉期ト致シマシテ、市町村ニ相當數ノ學級増加ヲサシムルト同時ニ、分校、分教場ト云フモノヲ澤山増加セシメテ、餘リ一箇所ニ大多數ノモノヲ集メテ、サウシテ徹底セザル教育ヲ進メテ行クト云フコトノナイヤウニシテ賞ヒタイト私達ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ施行規則三十條ヲ改メテ、モウ少シ人員ヲ縮小セシムルト云フ方針ヲ文部當局ハ持ツテ居ラレカ、若シ持ツテ居ラレナイトスルナラバ、強ク此ノ際御研究下サツテ實行シテ戴キタイ、斯様ニ思ツテ居リマスカラ、此ノ點御見解ヲ一ツ伺ヒタイと思ヒマス

○松浦國務大臣 小學校ノ一學級ノ人員ヲ餘リ多キニ失シナイヤウニスル、又一學校ノ兒童數ヲ餘リ澤山ニシナイヤウニスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ全ク御趣旨ノ如ク御同感デアリマシテ、出來ルダケ一學級ノ人員ヲ少クスル、一學校ノ人數モ校長ノ統率力ノ十分ニ及ブ範圍ニ限定スルト云フコトハ、其ノ人數モ餘リ多キニ失シナイヤウニスルト云フコトハ、是ハ必要デアルト思ヒマス、唯何分經費ノ關係、財政ノ關係モアリマスノデ、之ヲ理想通りニ行ヒ兼ネル、斯ウ云フ事情ニアルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ十分ニ考究ヲ致シマシテ、成ベク教育ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ點ハ十分考究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○服部委員長 マダ長イノデスカ
○山崎委員 今二點程デス
○服部委員長 極メテ簡單ニヤツテ下サイコトハ、學務委員制度ノコトデアリマス、是ハ今度ノ費用ノ負擔ノ變更ト同時ニ、市町村役場ト學校當局トノ間ニ、ドウシテモ從來ト變ツタ空氣、變ツタ狀態ガ發生スルト私達ハ考ヘラレルノデアリマス、又其處ニ今度ノ狙ヒ所モアルノデハナイカト思フノデアリマス、隨テ私達ハ主トシテ地方ノ町村ノ狀態ヲ見テ居リマスガ、此ノ學務委員制度ト云フモノニ相當改革ヲ加ヘテ、市町村當事者ト、學校當局トノ連絡ヲ、モウ少シ深クセシメテ行ク必要ガアルト思ヒマス、殊ニ總テノ旅費、總テノ手當、サウ云フモノガ全廢サレタ譯デハナイノデアリマス、全部道府縣ニ此ノ支辨ガ移管サレタ譯デハナイノデアリマス、殊ニ學校施設ニ於テモ相當市町村ノ厄介ニナツテ行カケレバナラナイモノガ多イノデアリマス、ソレ等ノ豫算ト云フモノハ、學務委員會ニ掛ケル、サウシテ市町村會ガ協賛シテ行ク結果ニナル、之ニ對シマシテ、學校當局ノ者モ參加スルヤウナ方途デモ考ヘルトカ、何トカ其處ニ一ツ繋ガリヲ持タセル必要ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ當局ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○松浦國務大臣 學務委員ノ構成其ノ他ニ付キマシテノ御意見デアリマスガ、之ニ付テハ十分考究致シマス
○山崎委員 餘リ明快ナル御答辯ガ得ラレマセヌガ、時間モアリマセヌカラ、突進シテ御伺スルコトハ差控ヘマスガ、此ノ點ハ將來實際問題トシテハ相當私達ハ考ヘラレベキ問題ダト考ヘテ居リマス、十分ニ一ツ御考究ヲ願ヒマス、最後ニ御伺シタイコトハ國民學校實施ニ依リマシテ、義務教育ガ八年制ニナリマシテ、從來高等小學校ニモ行ケナカッタ家庭ノ子供ニ對スル、色々ノ就學獎勵方法ト云フモノハ考究サレテ居ルト思フノデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ方法デ文部當局ハオヤリニナリマスガ、從來モ貧困家庭ニ對スル就學獎勵方法トシテ、獎勵金其ノ他ガ出テ居ルヤウデアリマスガ、アレモ的確ナル效果ヲ擧ゲテ居ル所モアリマスケレドモ、又居ナイ所モアルノデアリマス、今度國民學校實施ヲ機會ト致シマシテ、相當範圍ニ、相當強ク是ガ方法ヲ講ゼラルベキモノデアルト考ヘマスガ、當局ノ對策ヲ承リタイ

○松浦國務大臣 國民學校實施ニ伴ヒマシテ義務年限延長ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、一方ニ於テハ就學ノ獎勵ト云フコトヲ十分ニ致ス必要モアルト考ヘテ居リマス、今日ニ於テモ就學ノ獎勵ハヤツテ居ルノデアリマス、尙ホ更ニ義務教育年限延長ノ場合ニハ、サウ云フコトガ尙更必要ニナツテ參ルト考ヘマス、今日ハ或ハ學用品ノ給與或ハ給食ト、色々ナ方法ヲ講ジテ居リマス、場合ニ依レバ多少ノ學用品以外ノ物モ給與スルト云フヤウナ必要モアルカモ知レヌト思ヒマスガ、是等ノコトハ尙ホ十分ニ就學獎勵ノ效果ガ擧ガリマスヤウニ、方法ヲ講ジテ見タイト考ヘテ居リマス、尙ホ現在ヤツテ居ルヤウナコトニ付テハ、若シ御尋ナラバ政府委員カラ御答致シマス

○服部委員長 是ヲ以テ質問ヲ打切り、直チニ市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案及ビ現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案ヲ一括議題ト致シマシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依リマシテ之ヲ許シマス——民政黨伊藤東一郎君

○伊藤委員 私立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、只今議題ニ相成リマシタル兩案ニ對シテ附帶決議ヲ附シテ贊成ノ意見ヲ表明致ス者デアリマス、惟フニ我が大日本帝國百年ノ隆昌ヲ庶幾シマスルニハ、第二國民タル兒童ノ素質向上ヲ圖ルニアリト確信ヲ致シマス、殊ニ東亞新秩序建設ヲ目指シテ世界ノ大事業ガ遂行セラレツツアリマスル今日ニ於テ、我國ガ各國角逐場裡ニ能ク其ノ聖業ヲ達成シテ、世界平和ニ貢獻シ得ルヤ否ヤハ、懸ツテ此ノ一點ニ存スルト申シテモ蓋シ過言ニアラズト信ズル者デアリマス、果シテ然ラバ小學校兒童ノ素質ノ向上ヲ圖ルニハ一ツハ家庭教育ニ俟タザルベカラザルト共ニ、他ノ一ツハ小學校教育ニアリト信ズルノデアリマス、而シテ小學校教育ヲシテ能ク其ノ成果ヲ擧ゲシムルノ途ハ、實ニ教員ニ其ノ人ヲ得ルニアリト信ズルノデアリマス、小學校教員ニ其ノ人ヲ得ル所以ハ、優秀ナル人物ガ進ンデ小學校教員ノ職ニ就キ、指導大イニ擧ガルニアリト存ジマス、斯ノ如ク優秀ナル人物ガ、自ラ進ンデ小學校ノ教員ノ職ヲ選ブニ至ラシメルノ途ハ、小學校教員ノ地位ヲ向上サセルヨリ外アリマセヌ、此ノ意味ニ於テ今回政府ガ小學校教員ノ俸給ヲ府縣費負擔トシ、其ノ半額ヲ國庫補助ニ依ル建前トセラレマシタコトハ、義務教育費

在ヤツテ居ルヤウナコトニ付テハ、若シ御尋ナラバ政府委員カラ御答致シマス

ノ如キ、其ノ全額ヲ國庫ガ負擔スベキモノ
デアルトノ理想、即チ義務教育費全額國庫
負擔ト云フ我ガ黨多年ノ主張ニ、兎モ角
一步々々近付キツツアルト云フ觀點カラ致
シマシテ、贊意ヲ表スルモノデアリマス、
併シナガラ其ノ運用ニシテ一步誤マラン
カ、國家ノ前途ニ影響スベキ所極メテ重且
ツ大ナルコトニ鑑ミ、文部當局ニ於キマシ
テハ、其ノ重責ニ當ラレツツアルコトヲ痛
感セラレ、本委員會ニ於ケル熱心且ツ眞劍
ニ檢討セラレマシタル片言半句ニ至ルマデ、
十分含味省察セラレ、以テ其ノ運用ノ實施
ノ上ニ他山ノ石ト爲シ、本改正ヲ意義アラシ
ムルモ、没却スルモノニ懸ツテ當局ノ責任
ニアルコトヲ自覺セラレ、其ノ運用ニ萬遺
憾ナキヲ期シ、教育有終ノ美ヲ濟スニ一段
ノ御努力ヲ致サレンコトヲ希望致シマシテ、
贊成ノ意ヲ表シマス、次ニ附帶決議ヲ朗讀
致シマス

附帶決議

- 一、青年學校ノ重要性ニ鑑ミ、速ニ義務
教育費國庫負擔法ヲ制定スベシ
- 二、町村小學校教員ノ異動ニ關シテハ當
該町村長ノ意見ヲ徵スベシ
- 三、地方視學ノ待遇ヲ高メ、素質ノ向上
ヲ圖リ教育行政ヲ完カラシムベシ
- 四、小學校教員ヲシテ官僚化ニ陥チ入ラ
シメザル様最全ノ考慮ヲ拂フベシ
- 五、小學校養護婦令ヲ速ニ制定スベシ

以上

○服部委員長 政友會河上哲太郎

○河上委員 簡單ニ只今ノ民政黨ノ御意見
ニ贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、只今御
話ノ通り此ノ法案ハ法案其ノモノノ文字ハ
簡單デアリマスルケレドモ、影響スル所

重大デアルダケニ、諸君ノ御熱心ナ質問應
答御研究ノ結果、各派ノ理事諸君ノ御相談
ノ上ニ出來タノガ只今ノ御意見デアリ、且
ツ附帶決議デアルト承知致シテ居リマス、
隨テ私共モ其ノ儘贊成ノ意ヲ表スル譯デ
アリマス、唯特ニ私ノ此ノ際文部當局ニ
此ノ案ツレ自身ニ關係ナクシテ、而モ吾
吾ガ附帶決議ト致シマシタ、青年學校ノ問
題ニ付テ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、
ソレハ今日青年學校ガ義務制ヲ布カレマシ
タガ、過去ニ於ケル青年學校ノ歴史ヲ顧ミマ
スト、實業補習學校、即チ實業上ノ能力ヲ
作ルベク教育サレテ居ルモノヘ、法制、經
濟ガ之ニ入り、次ニ青年訓練、國防上ノ青
年素質ヲ作ル、斯ウ云フモノガ併セ發達シ
テ來テ、青年學校ガ出來タ、其ノ意味ハ
何デアルカト言ヘバ、小學校ノ名前ヲ國民
學校トシタト同ジニ、國民大衆教育ノ本筋
ヲ行ク學校デナケレバナラス、其ノ意味デ
改稱サレタモノデアリ、其ノ意味デ義務制ガ
布カレ、發展完成セラレテ來タモノト察ス
ルノデアリマス、國防ニ於テハ皆兵主義ヲ
採リ、政治ニ於テハ普通選舉ヲ布キ、産業
其ノ他ニ於テモ國家ノ基礎ヲ成ス者ハ國民
大衆デアリ、此ノ國民大衆ノ小學校即チ國
民學校ヲ作り、而モ直グニ世ノ中ニ出ル教
育機關トシテノ青年學校ニ於テハ其ノ意味
デ教育セナケレバナラス、然ルニ同ジ青年
期ニ於キマシテ寧ロ特別ノ立場ニアリ、或
ル意味カラ言ヘバ特權ト云フコトハ惡イカ
モ知レマセスケレドモ、幸福ナ立場ニアル教
育機關ハ最近ニ於キマシテハ、地方及ビ中
央ニ於テ府縣若クハ國家ノ力デ發達サレ統
一サレテ來テ居ル、教員モ其ノ意味ニ於テ
優遇サレテ居ル、然ルニ此ノ不幸ナ、而モ

國民ノ基礎ヲ成ス多數ノ者、將來ニ於テ國
家ニ影響スル所極メテ大キイ其ノ人々ノ教
育ノ状態ヲ見マスルト、一方ニ於テハ其ノ
必要カラシテ教育ヲ義務的ニ爲サントシテ
居ルノニ、其ノ待遇、設備ニ於テ非常ニ氣
ノ毒ナ状態ニ在ルト思フ、此ノ點ニ於テ私
ハ先程ノ日本ガ革新ヲセネバナラス時期ニ
居ルト云フ御話ハ全然同感デアリマスガ、
其ノ時期ニ於テ吾々ハ特ニ考ヘナケレバ
ラヌコトデアルト思フ、故ニ私ハ文部當局
ガ此ノ意味ニ於テ將來青年學校ノ義務教育
費國庫負擔其ノ他ノコトニ力ヲ入レラレ
テ、彼等ノ教育ヲシテ能力アリ、彼等ノ教
育ヲシテ將來不平ヲ起サユウナ結果ヲ來サ
ナイヤウニ御配慮アラシコトヲ、特ニ附加
ヘマシテ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマ
ス

○服部委員長 政友會庄司一郎君

○庄司委員 只今同僚伊藤君ニ依ツテ述ベ
ラレマシタ御演說ノ中ニ於テ、五項目ノ希望
條件ハ吾等各派ノ總意ノ結晶ノ成案デア
ルト云フ意味ニ於テ只今此ノ法案ニ全面的
ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、御許ヲ
得テ極ク簡單ニ聊カ私見ヲ述ベサシテ戴キ
マス、市町村立ノ實科高等女學校並ニ程度
ノ低イ所ノ實業學校等ノ教諭或ハ教員ノ待
遇ハ極メテ其ノ待遇ガ低イノデアリマス、
又將來ソレ等ノ學校ノ教職員ノ前途ニハ或
ハ校長ニナルトカ、或ハ府縣ノ視學ニナリ
得ルトカ云フヤウナ光明トモナイノデゴ
ザイマス、甚ダ下積トナツテ居ル所ノ實科
高等女學校ノ教員、或ハ程度ノ低イ所謂乙
種程度ノ實業學校ノ教員ト云フモノノ心持
ハ、前途ノ光明ト希望ガ全ク閉塞サレテ居
ヤウナ感シテ、現地ニ於テ吾々ハ見テ居ル

○服部委員長 社會大衆黨山崎君

○山崎委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ
シテ本案ニ對スル贊成ノ意思ヲ表明スル者
デアリマス、又只今伊藤君朗讀ノ附帶決議
モ併セテ贊成スル者デアリマス、本案ハ多
年市町村ノ要望致シテ居リマシタ小學校教
員俸給ノ道府縣支辨並ニ其ノ一定額ノ國庫
負擔トナルモノデアリマシテ、是ハ延イテ

ノデアリマス、左様ナ方面ニ對シテモ文部
省ハ普クヨリ良キ御調査ト御研究ヲ賜リマシ
テ、適當ナル所ノ對策ヲ講ジテ戴キタイ、
又軍港、要塞、海軍火藥廠等々ノ所在地ノ
市町村ノ教育状態ト云フモノハ洵ニ悲惨ナ
状態ニ陥ツテ居ル、例ヘバ横須賀ノ白濱小
學校ノ如キハ一千八百名以上ガ二部教授ヲ
施行シテ居ル、同青年學校ニハ機關銃ガ一
挺モナイ、木銃ガタツタ十三挺、軍港トシ
テアル所ノ横須賀ノ如キ都會内ニ在ル青年
學校ニ於テ、斯ノ如キ悲惨ナル青年學校ヲ
私ハ極メテ最近視察致シマシタ、是ハ獨リ
横須賀ダケヂヤアリマセヌ、吳市ニ於テモ、
舞鶴ニ於テモ、佐世保ニ於テモ、左様ナ軍
港都市、海軍ノ要塞關係、或ハ工廠關係地
帯ニ於ケル教育機構ト云フモノハ洵ニ整備
シテ居リマセヌノデアリマス、悲惨ナル
東北地方ニ於ケル青年學校以下デアアル、
小學校モ右同様デアアル、左様ナコトハ當該
市町村ノ財政ノ結果デアリマス、ケレドモ、
ドウカ文部省ニ於テハ特ニ軍港都市方面ニ
於ケル教育關係ヲ十二分ニ御調査下サイマ
シテ、ソレニ對シテ適切ナル御施設ヲ要望
シテ已マナイノデアリマス、立憲政友會ヲ代
表致シマシテ本案贊成ニ直面致シマシテ、
私見ノ一端ヲ加ヘルコトノ御許ヲ得マシテ、
贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○服部委員長 社會大衆黨山崎君

○山崎委員 社會大衆黨ヲ代表致シマ
シテ本案ニ對スル贊成ノ意思ヲ表明スル者
デアリマス、又只今伊藤君朗讀ノ附帶決議
モ併セテ贊成スル者デアリマス、本案ハ多
年市町村ノ要望致シテ居リマシタ小學校教
員俸給ノ道府縣支辨並ニ其ノ一定額ノ國庫
負擔トナルモノデアリマシテ、是ハ延イテ

地方財政並ニ教育效果ヲ舉ゲマス上ニ於テノ要望ガ或ル程度満足セラレタモノト考ヘルノデアリマスガ、今尙ホ殘ツテ居リマス一般旅費、一般手當、ソレ等ノ如キモノガ存在シテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等モ併セマシテ近キ將來ニ於テ道府縣支辨並ニ國家負擔ノ方途ヲ講ゼラレシコトヲ希望スル者デアリマス

次ニ私達ハ此ノ機會ニ國民學校ノ實施ヲ目前ニ控ヘマシテ、日本内地ノ義務教育ガ如何ニ高度ニ發展致シマシテモ、今日東亞ノ事態ヲ動カスモノハ日本ノ内地民族ノミナラズ、併セテ半島ノ同胞或ハ臺灣ノ同胞滿洲ヲ通ズル全東亞民族ノ結合ト云フコトガ大キナ課題トナツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ最初ニ教育致スベキ義務教育ノ段階ニ於テハ、到底日本内地ニ於ケル基礎教育ノ完備ト云フコトダケハ足リスト考ヘマス、今日朝鮮臺灣ニ於ケル教育ハ出先ノ總督ノ權限ノ中ニ含メラレテ居リマシテ、殆ド此ノ議題ニ上ツテ來ナイヤウナ状態ニナツテ居ルコトハ甚ダ物足ラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ今日ノ如キ、朝鮮ニ志願兵制度ガ布カレ、サウシテ日本ノ内地出身ノ軍人ト相伍シテ戰線ニ戰ツテ居ル段階ニ於キマシテハ、朝鮮ニ於ケル義務教育ノ向上、臺灣ニ於ケル義務教育ノ向上ハ當然文部省ガ先頭ニ立ツテ此ノ確保ト向上ニ努力シテ貰ヒタイト思フノデアアル、殊ニ此ノ點ニ付キマシテハ最近ノ日本ノ義務教育ニ要望シテ居ル希望ト云フモノハ、軍隊ノ機械化ト云フコトヲ中心ニシテ、産業ノ重工業化ト云フコトヲ中心ニシテ相當變革ガ齎サレナケレバナラヌト吾々ハ考ヘテ居ルノデアアル、此ノ基礎教育ニ於キマシテハ、教員ノ

素質ノ上ニ於キマシテ、進歩セル科學教育、進歩セル機械教育、進歩セル現代ノ科學兵團ニ對スル知識、或ハ産業ニ對スル知識ト云フモノノ僅カノ缺乏ガ、延イテハ教育家トシテ子供ニ對スル感化力教育力ト云フモノヲ得テ得ナイノデアアル、是ハ日本ノ教育ガ技術者ヲ作ルコト云フコトニダケ頭ヲ致シマシタ所ノ偏頗ナ考デアリマシテ、如何ニ技術者ヲ教育セント致シマシテモ、國民全體ノ工業ニ對スル知識、科學ニ對スル知識ト云フモノガ總テ向上致サナケレバ、其ノ中カラ良キ技術者モ、良キ産業モ生レテ來ナイノデアリマス、是ハ如何ニ立派ナ重工業ガ出來テ行キ、立派ナ機械化兵團ノ道具ガ出來タト致シマシテモ、之ヲ動スベキ者ハ農村、山村、漁村カラ出テ行ク此ノ義務教育ヲ終リ、或ハ青年學校ヲ出テ行ツタ所ノ其ノ程度ノ人達ガ操作ヲシテ戰闘ニ從フノデアリマス、又工場ニ行ツテ産業ニ從フノデアリマスカラ、之ヲ總體的ニ向上セシメナケレバ、日本ニ於ケル産業ノ發展モ、國防國家ノ建設モ出來ナイト考ヘルノデアリマス、其ノ第一歩ヲ承ルモノハ義務教育ニ於ケル教員ノ素質デアアル、此ノ重大ナ案件ニ對スル當局ノ力ノ入レ方ガ又大イニ影響シテ來ルト考ヘラレルノデアリマスカラ、文部當局モ此ノ機會ニサウ云フ方面ニ一層ノ努力、一層ノ關心ヲ持タレマシテ、教育ノ向上ト云フコトノミニアラズシテ、今日ノ東亞ノ新天地ニ於ケル日本ノ使命並ニ國防國家ノ要求シテ居ル基礎教育ト云フモノニ適合スベキ方針ヲ御執リ下サランコトヲ希望致シマシテ、私ハ本案ニ對シ贊成ノ意思表示ヲスル者デアリマス

○服部委員長 時局同志會木村武雄君

○木村委員 時局同志會ヲ代表致シマシテ本案ニ贊成ノ意ヲ表シマス、義務教育費ノ國庫金額負擔ト云フコトハ官民多年ノ要望デアリマシテ、今回提案サレマシタ此ノ法律案ガソレヘノ道程ナリト云フ見方カラ贊成スルモノデアリマス、併シナガラ委員會ヲ通シテ各方面カラ慎重檢討考究ヲ加ヘマシタ其ノ足跡ニ顧ミテ、マダ大イニ論議シテモ宜シイ點、修正スベキ點ガ澤山殘サレタ儘デ贊成シナケレバナラナイノデアリマスガ、端的ニ申シマスレバ、此ノ法案ハ小學校教員ノ待遇改善ノ一ツノ方法ニ過ギナイノデアリマス、從來トモスレバ貧弱町村ニ於ケル俸給ノ不拂ノ事實ニ鑑ミテ、市町村ヨリモ府縣廳ガ俸給支拂ノ責任ヲ擔當シタ方ガ確實デアルト云フ觀點ニ立ツテ立案サレタモノニ過ギナイト思フノデアリマス、教員ノ生活保障ト云フコトハ素質ノ向上上重要ナルモノトハ考ヘマスルガ、教育ノ本質ノ向上ヲ圖ル唯一最大ノ要件デアルトハ思ヒマセヌ、小學校教員ノ待遇ハ數年前ニ比較致シマシテ非常ニ良クナツテ居リマス、東北地方ノ如キデモ校長ノ俸給ガ百圓ヲ超エ、村長ノ報酬ガ四十圓ナドト云フコトハ珍シイコトデアリマセヌ、極端ニ申シマス、農村ニ於ケル俸給貴族ノ如キ感ヲ農民ニ與ヘテ居ル事實モアルノデアリマス、是ハ義務教育ノ重責ヲ擔フ人々ニハ當然ノコトデアツテ、尙ホ足レリトセヌ所カモ知レマセヌガ、待遇ノ斯ル改善ニ比較シテ其ノ素質ノ向上ガドレダケセラレテ居ルカドウカ疑問デアリマス、人間ハ物デアリマセヌ、俸給ガ高クナツタコトガ即チ其ノ人間ガ立派ニナツタ如ク考ヘマスコトハ物質主義、功利主義ノ横行スル時代ノ通弊

デアリマス、少クとも俸給ノ上ツタ程教員ノ素質ノ向上セヌコトハ、遺憾ナガラ之ヲ事實ニ證明スルコトガ出來マス、特ニ御注意ヲ御願シタイノハ、義務教育費國庫負擔法ノ發布以來、農村ノ小學校教員間ニ現ハレタル一ツノ傾向ニ付デアリマス、從來小學校教員、特ニ農村ノ小學校教員ハ其ノ周圍ニアル農民ト利害休戚ヲ等シクスル機會ガ非常ニ多カツタノデアリマス、故ニ村モ貧シケレバ己モ貧シク、東北地方ニ一タビ凶作ガ訪レマスレバ僅カノ俸給ガ拂ハレズニ、村民ト共ニ苦シム境遇ニ置カレテ居ツタノデアリマス、即チ小學校ハ農村ヨリ分離獨立セズニ、農村ト渾然ト融和シタル有機的ノ繋ガリヲ持ツテ居ツタノデアリマス、ソコニ教員ノ家庭愛ヨリ生レマシタ親シミガアリマシタシ、教員ノ人格ヲ通シテ行ハレマシタ訓育モアリマシタシ、所謂地方ノ特殊性ガ生キマシテ、畫一的ナラザル教育ニ非常ニ重要性ガアツタノデアリマス、然ルニ最近ニ於テハサウシタ有機的關係ガ次第ニ破レテ參リマシタ、農村ト小學校ハ分離獨行シ、教員ハ家庭ヲ農村ニ對シテ閉ザシテ、所謂學問ノ切實ヲスル現象ガ非常ニ多クナツタ、小學校ノ獨善的傾向ガ非常ニ強クナツテ參リマシタ、煎ジ詰メテ參リマスレバ、曾テ農村ノ安危存亡ヲ一身ニ體驗シタル教育家ノ教育ヲ行フ機會ガ少クナツテ、國民ト苦樂ヲ共ニセザル獨善的小官僚化シタ教員ガ非常ニ多クナラントスル傾向ハ、由々シキ問題デアルト考ヘテ居リマス、私ハ此ノ法案ニ現ハレマシタ府縣支辨ノ問題ハ、斯ル憂フベキ傾向ニ拍車ヲ掛ケルニアラズヤト云フ疑スラモ抱キナガラ贊成セザルヲ得ナイノデアリマス、小學校

教員ト言ハズ、一般教育家ノ官僚化ノ問題ハ、本委員會ニ於テモ屢論セラレタノデアリマス、特ニ本日文部大臣ト私質問應答致シマシタガ、文部大臣ハ議會ノ審議協贊權ハ尊重スル、無視シテ居ナイト云フ御答辯デアリマシタケレドモ、御氣持ハサウデアアルカモ知レマセヌガ、其ノ態度ニ於テ、其ノ行動ニ於テ、明ニ議會ヲ蔑視サレタ傾向顯著デアツタト私ハ考ヘルノデアリマス、唯將來此ノ問題ガ政治的問題トナリマシテ、徒ニ國內ニ波紋ヲ投ズルコトヲ惧レマシタガ爲ニ、質問ヲ中止致シタト云フ點ダケハ、御諒承ヲ御願シタイノデアリマス、斯ウ云フコトハ洵ニ教育ノ根本ニ關スル重大問題デアリマス、固ヨリ過去ニ於テ其ノ俸給ガ支拂ハレズシテ起ツタ幾多ノ悲慘事ハアリマシタ、生活ノ資ヲ握ル地方ノ政治家ニ操ラレテ、義務教育ガ政争ノ具ニ供サレテ、其ノ犠牲ニナツタ多クノ小學校教員モ知ツテ居リマス、併シナガラ其ノ窮乏、其ノ困難ノ中ニアツテ、尙且ツ氣骨稜稜トシテ教育家ノ天分ヲ全ウシタル眞ノ教育家モ數多クアツタノデアリマス、私ハ義務教育ニ從事スル小學校教員ノ優遇ニハ、心カラ贊成ヲ致シマス、併シナガラ貧シクシテ墮落スル者ハ、富ミテモ墮落スル者デアリマス、恐ラク今日待遇ノ改善ニ依ツテ、眞ノ教育的天分ヲ發揮シテ居ル小學校教員ハ、曾テ貧シサノ最中ニモ儼然ト節ヲ守ツテ來タ人々デアアルニ違ヒアリマスマイ、過去ニ於テ貧シサノ爲ニ權門ニ媚ビ、醜怪ナル政争ニ捲込マレタ人々ハ、今日其ノ物質的ナ優越感ヲ持ツテ、傲然ト農村小官僚ヲ氣取り、新シキ墮落ヲ續ケテ居ル人々デアアラウト私ハ考ヘテ居リマス、教員ノ素質ノ向

上ト云ヒ、優秀教師ト云ヒマスルガ、ソレハ教育ノ本旨ニ立ツコトヲ不動ノ基準トスベキモノデアツテ、待遇云々ノ問題ハ派生的ナ問題デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、外鏡ノ端麗デアルトカ、服裝ノ清楚デアルトカ、固ヨリ結構デアリマス、頭ガ良イトカ、社交ガ非常ニ上手デアルトカ、是非常ニ結構デアリマス、併シナガラ常ニ出世ト榮達ヲ夢ミテ、農村ノ子弟ト死生ヲ共ニスル情熱ガナク、農村ニ於テモ俸給ノ支辨ハ府縣ニ於テ爲スガ故ニ、獨リ超然トシテ我爾セズ焉ト云フ優秀サハ、教育ノ本義ニ微セザル形式の優秀サニ過ギナイト私ハ考ヘテ居リマス、形式ノ優秀サヲ誇ル官僚主義ハ教育上最モ有害デアリマス、教員ハモウ一度其ノ魂ヲ農村ニ打込マケレバナリマセヌ、義務教育ハ日本國體ノ本義ヨリ再出發スベキ必要ヲ私ハ痛感致シテ居リマス、日本ノ教育ハ根本的ニ變革サレナケレバナリマセヌ、形式教育ヲ揚棄シテ、魂ノ教育ニ還元スベキデアリマス、特ニ山崎君モ申述ベラレマシタガ、日本ハ是カラ日滿支三國ニ互ル政治ヲ擔當シナケレバナリナイ、東亞諸民族ニ對スル民族問題ヲ一體ドウスルカ、教育ノ根本問題、私ヨリ申シマスレバ民族協和ニ「スタート」シタル教育ノ根本的變革ヲ必要トスル、日滿支三國ハ眞ニ同志的繋ガリヲ以テ行カナケレバナラヌト云フ、聯盟思想ニ基イタル教育ノ變革ヲ今日カラシテ行カナクツタナラバ、將來大キナ禍根ヲ貽シハシナイカ、齋藤サンノヤウナ議論ガ公然ト行ハレテ居ル、ソレヲ内務當局ハ取縮ル必要ガアリマセウケレドモ、文部當局ハヨリ以上啓蒙ヲシテ置ク必要ガアル、日本ノ教育ヲ根本的ニ變革シナケレバ

ナリマセヌガ、ソレヲ變革スルト否トハ文部當局ニ課セラレタル官僚獨善ヲ一擲スルカ、從前通りノアノ情ケナサヲ續ケテ行クカト云フ一點ニ懸ツテ居ルデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、希クハサウ云フヤウナモノヲ一切一擲サレマシテ、眞ニ明朗ナ、眞ニ立派ナ教育制度ヲ茲ニ確立サレマスルヤウ、民ニ聞クベキハ聞キ、民ノ容ルベキハ容レテ本當ノ教育制度ヲ確立サレマスヤウニ希望ヲ附シマシテ、本案ニ贊成スルモノデアリマス

○服部委員長 第一議員俱樂部笠井重治君
○笠井委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本案ニ贊成致シマス、且又附帶決議ニモ贊成ヲ致スモノデアリマス、本案ハ既ニ論議サレタ如ク、我が國民ノ多年ノ要望ヲ教育費ノ國庫負擔ト云フコトニ依ツテ充スコトニナルノデアリマス、故ニ本案通過ニ依ツテ、我が國ノ小學校教員ガ全般的ニ優遇ヲ受ケ、又保護サレルコトガ出來マスヤウニ、希望ヲ致スノデアリマス、唯懼レマスルコトハ、本案ノ通過ニ依ツテ、或ハ我國ノ小學校教育ヲ官僚化セシメル傾向ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、ドウカスル傾向ヲ阻止スルコトガ出來マスルヤウニ、當局ハ十分御注意ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、且又教員ノ異動ヲシテ從來ヨリモ頻繁ナラシメ、其ノ結果教員ガ安シジテ、其ノ職ニ全身全力ヲ傾倒スルコトガ出來ナイヤウナコトノナイヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、而シテ今日我國ニ於ケル義務教育ノ普及ヲ徹底セシメ、延イテハ臺灣及ビ朝鮮ニマデ、全般的ニ我國ノ版圖ニ於テ教育ノ「レベル」ヲ高クセシメルコトヲ希望致シマス、

特ニ私ハ此ノ間臺灣ヲ訪問シテ、曾テ十年前ニ同胞三百人ガ殺害セラレタル霧社ノ蕃社ヲ訪ヒ而モソレ以上山奥ノ蕃社ニ於テ、蕃人ノ子弟等ガ舉ツテ國語ヲ使ヒ、又君ケ代ヲ合唱スルノヲ見テ、非常ニ感嘆ヲ致シマシタ、即チ光風六合ニ洽ク、日本國民ノ大精神ガ日本ノ全版圖ニ及ンデ居ルノヲ見テ、欣幸ニ存ジマシタ、併シナガラ小學校教育ハ今後尙ホ改良スベキ所ハ相當アラウト思ヒマス、既ニ木村委員ガ言ハレタ通り、ドウカ當局ハ我國ノ國民教育ガ、全般ニ於テ「レベル」ヲ高メルコトガ出來マスヤウニ御盡力アラントラ希望スルノデアリマス、而シテ最後ニ私ノ希望シマスコトハ、既ニ山崎、木村兩委員ニ依ツテ強調サレタル點デアリマス、即チ我が日本ハ島國デアリマスガ、今日ハ大陸の國家デアリマス、隨テ國民ヲシテ島國の根性ヲ去ツテ、排外的思想ハ之ヲ矯正シテ、廣ク知識ヲ世界ニ求メ、八紘一字ノ理想ヲ以テ日滿支ノ協力ヲ強化シ、東亞ノ眞ノ盟主トナルコトガ出來マスヤウニ、我國ノ教育ノ根本ヲ確立シテ戴キタイノデアリマス、八紘一字、即チ全人類ハ我が同胞デアリ、世界ハ我が字デアルト云フ確信ヲ以テ、我が國民ガ眞ニ世界ニ進んで行クコトガ出來マスヤウニ指導サレタイ、而シテ其ノ源ハ國民教育デアリマスノデ、此ノ點ニ於テ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ斯ル教育ヲ與フルニ付テハ、教育家ノ理想、教育家ノ人格、教育家ノ體力等總テノ水準ガ上ラナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ今日ノ如ク教育家ヲシテ自己ノ生活ノ脅威ノ爲以上ノ目的ノ貫徹ヲ期スルコトガ出來ナイヤウナ状態ニ置クコトハ遺憾デアアル、此ノ點ニ付テ教員ノ再

教育ト云フコトモ必要デアラウト思ヒマス
カラ、政府ハ是等ノ點ニ付テ十分御注意ヲ
セラレンコトヲ希望致シマス、以上ノ希望
ヲ述ベマシテ私ハ是ノ兩案ニ賛成ヲ致ス次
第デアリマス

○服部委員長 討論ハ終局致シマシタ、是
ヨリ採決ヲ致シマス、兩案ノ原案ニ賛成ノ
諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○服部委員長 起立總員、仍テ兩案ハ何レ
モ原案通り可決致シマシタ——次ニ伊藤君
ヨリ提出セラレマシタ附帶決議ハ御異議ア
リマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○服部委員長 御異議ナシト認メマス

○松浦國務大臣 先程伊藤君カラ御讀ミニ
ナリマシタ附帶決議ノコトニ付キマシテ、
一言申述ベタイト存ジマス、此ノ附帶決議
ノ中ニハ、相當研究ヲ要スル事柄モアリマ
スノデ、十分調査致シマシテ、出來得ル限
リ御趣旨ニ副フヤウニ、考慮スルコトト致
シタイト存ジマス

○服部委員長 次ニ職業紹介法中改正法律
案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス

○長井委員 此ノ法案ノ審議ノ經過ニ見マ
シテモ、別ニ異論モアリマセヌ、極メテ簡
單ナ案デゴザイマスカラ、討論ニ付サズ、
直チニ採決サレテハ如何デアリマスカ
○服部委員長 只今長井君ヨリ提出サレマ
シタ討論ヲ用ヒズ、直チニ採決ヲシテハト
云フ勸議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○服部委員長 御異議ガアリマセヌカラ是
ヨリ採決致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ起
立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○服部委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案
通り可決致シマシタ——一寸此ノ際一言御
挨拶ヲ申上ゲマス、本委員會モ會議ヲ開キ
マスコト十回ニ及ビマシテ、各委員ハ熱心
ニ御質問致サレ、又政府當局モ懇切丁寧ニ
御答辯ナサレマシテ、十分ナル審議ヲ盡サ
レマシタコトハ、洵ニ喜バシイ次第デアリ
マス、此ノ間不肖委員長ト致シマシテ、洵
ニ足ラヌ點ガ多カツタト存ジマス、此ノ段
皆サンニ御詫ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマ
ス、本委員會ハ之ヲ以テ閉會致シマス
午後零時四十二分散會